

令和7年度研修

ダム管理

主 催 一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

近年、気候変動の影響により頻発・激甚化する水災害に備え、ダムの洪水調節機能を強化するため、事前放流が全国的に実施されており、より効果的なダムの操作が求められています。

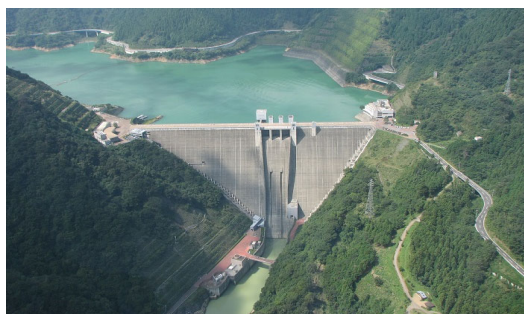
本研修は、ダムの維持管理・施設の点検整備に関する講義、ダムシミュレータ装置による洪水時操作の疑似体験、異常洪水時防災操作の計画書作成演習および現地研修により、幅広くダム管理に必要な知識を修得していただくことを目的としています。

ダム管理業務に携わる方々に必要不可欠な知識を得る機会として、また、全国から集まった参加者との相互交流、情報交換の貴重な機会としても好評を得ています。

皆様のご参加をお待ちしております。



ダムシミュレータ装置



現地研修（宮ヶ瀬ダム）

◎受講された方々の声

- ・ダム管理における基礎的な知識を学べる研修であり、わかりやすい説明でダムについて体系的に学べたのが良かった。
- ・ダム管理全般について知識を深めることができ、得た知識を業務に活用したい。
- ・ダムシミュレータで実際にダム操作体験ができ、ダムの仕組みが見えてきた。

【研修期間】 令和7年11月10日(月)～11月14日(金) 5日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL : 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

※当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム〔昨年度単位数 29.66〕

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム〔昨年度ユニット数 32〕

※受講経費の助成制度がある県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります）

青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・大分・宮崎の18県。

詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

※厚生労働省人材開発支援助成金（人材育成支援コース）について

当センターでは、事業主の方が申請に必要な、本研修に派遣された従業員の受講状況の証明をします。

なお、当該助成金が支給されるかどうかは、各都道府県労働局が研修受講後の支給申請に基づき、審査の上決定することとされています。詳細は、厚生労働省又は都道府県労働局のホームページをご覧ください。

令和7年度研修「ダム管理」実施要領

1. 目的 ダムの維持管理、点検整備に関する講義、ダムシミュレータ装置による洪水時操作、異常洪水時防災操作の計画書作成等、幅広くダム管理に必要な知識を修得する。
2. 対象者 国、地方公共団体、独立行政法人及び民間企業等において、ダム管理業務に携わる者
3. 募集人数 40名
4. 研修期間 令和7年11月10日(月)～11月14日(金) 5日間

【研修に関する注意事項】

※通学制です。
※近隣の提携ホテルに研修生特別料金で宿泊できます。
当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。
<https://www.jctc.jp/training/hotel>

【現地研修についての注意事項】

※現地研修では、歩きやすい靴を履き、折りたたみ傘などの雨具をご用意願います。

5. 集合日時 11月10日(月)1号館1階ロビーの教室案内板にて教室をご確認の上、10時30分までに教室に入室してください。

6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：黒岩、水野
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
※申込はインターネット、郵送、FAXいずれでも受け付けています。
ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>
TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296

8. 研修会費及び納入方法

研修会費 107,000円(1人当たり、消費税含)
請求書をお送りしますので、請求書到着後にお振り込みください。
※振込手数料はご負担ください。
請求書の発送・納入方法につきましては、当センターホームページ「<https://www.jctc.jp/training/kaihi>」をご確認ください。

9. 申込締切日 令和7年10月27日(月)

※上記締切日以降、受講者のキャンセル及び変更はできかねますので、ご了承ください。

10. その他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、関数電卓、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 座席の位置や個人差により体感温度に差がありますので、カーディガン等の持参をお勧めします。
- (4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

【お知らせ】

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込550円)の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

令和7年度研修 「ダム管理」 時間割

月日	曜日	時間 (講義時間)	教科目	細目	講師 所属 役職
11/10	月	10:30～11:00	開講の挨拶・オリエンテーション		
		11:00～12:00 (1.0h)	特別講話	最近の河川・ダム管理に関する話題	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水企画室 室 長 村山 英俊
		13:00～14:30 (1.5h)	ダム管理法規	法規、訴訟・判例	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐 成吉 弘
		14:40～17:10 (2.5h)	ダム管理業務諸規程及びダム操作の基本並びに維持管理・点検	堤体維持管理、総合点検、長寿命化・アセットマネジメント、地域連携、湖面利用等	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水企画室 課長補佐 藤枝 達也
11/11	火	9:00～10:30 (1.5h)	ダム流域の水文観測及び流出予測	ダム管理に関わる水文観測方法及び流出予測方法全般	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水循環研究室 室 長 山本 陽子
		10:40～12:10 (1.5h)	貯水池の管理 (水質)	貯水池内の水質管理全般	一般財団法人 水源環境センター 研究第二部 水質技術開発室 室 長 木村 文宣
		13:10～14:40 (1.5h)	貯水池の管理 (地すべり・のり面保護)	地すべり・のり面保護全般	国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム 上席研究員 杉本 宏之
		14:50～17:20 (2.5h)	ダムの構造の概要と安全管理、維持管理・点検	構造全般と安全管理全般	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 大規模河川構造物研究室 室 長 櫻井 寿之
11/12	水	9:00～10:30 (1.5h)	機械設備の概要と維持管理・点検整備	機械設備全般	国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ 施工企画室 課長補佐 塩入 健治
		10:40～12:10 (1.5h)	電気通信設備の概要と維持管理・点検整備	電気・通信設備全般	国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ 電気通信室 企画専門官 田胡 匡基
		13:10～15:40 (2.5h)	ダムの水理構造物の機能の概要と維持管理・点検	洪水吐き、ゲートバルブ、放流管	国土研究開発法人 土木研究所 河道保全研究グループ 水エチーム 上席研究員 水草 浩一
		15:50～17:20 (1.5h)	貯水池の管理 (堆砂)	堆砂対策等全般	
11/13	木	9:00～11:00 (2.0h)	気象情報とその利活用	最新の観測方法と予測方法など	一般財団法人 日本気象協会 社会・防災事業部 調 査 役 平松 信昭
		11:10～12:10 (1.0h)	多目的ダムの操作	ダムシミュレータ操作内容説明	一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修事業部 次 長 黒岩 久一
		13:10～15:30 (2.5h)	多目的ダムの操作実技 (ダムシミュレータ操作)	2グループに分かれて、多目的ダムの操作実技と演習を交互に実施	一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修事業部 次 長 黒岩 久一
		15:40～18:00 (2.5h)	演習：異常洪水時防災操作の計画書作成		研修専門役 竹本 隆之 研修専門役 平野 一彦
11/14	金	8:30～12:30 (4.0h)	現地研修 宮ヶ瀬ダム 神奈川県相模原市 他 8:30 研修センター 出発 12:30 本厚木駅(小田急)解散	ダムの維持管理全般 (操作室、洪水吐、監査廊、観光放流、広報施設の見学含む)	宮ヶ瀬ダム (国土交通省 関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所)
		合計 31h			

※教科目及び講師については変更することがあります。

令和7年度研修 ダム管理 申込書

(一般)

【受講申込者入力欄】 D201

ふりがな				年齢	性別
受講者氏名				満才	☐ 男 ☐ 女
最終学歴	☐ 大学院 ☐ 大学 ☐ 短大 ☐ 高専 ☐ 専門学校 ☐ 高校 ☐ その他 科卒業/修了				
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	☐ 事務 ☐ 技術	
勤務先種別	☐ 国・地方公共団体 ☐ 独立行政法人等 ☐ 技術センター・財団・社団 ☐ 建設業者 ☐ コンサルタント ☐ その他				
勤務先	〔勤務先名〕				
	〔所属部課名〕				
	〒 —				
	TEL: —				
受講者E-mailアドレス	@				

【受講者派遣機関名入力欄】 ☐上記受講者と同じ

派遣機関名					
所在地	〒 —				
連絡先	—				
派遣事務担当者	〔所属〕				
所属・氏名	〔氏名〕				
E-mail アドレス	@				

【請求書情報入力欄】 ※宛名の空白指定はできません。日付は発行日になります。

請求書の送付方法	☐ 郵送 ☐ メール	送付先	☐ 派遣事務担当者 ☐ 受講者
請求書宛名			
登録番号 ※任意	T		登録 ☐ なし
(インボイス適格請求書発行事業者でない場合は、登録なしにレ点を入れてください)			

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報は、研修を円滑に実施するためのものです。
申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

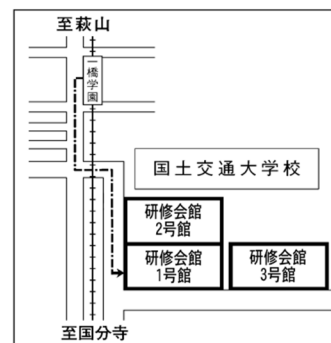
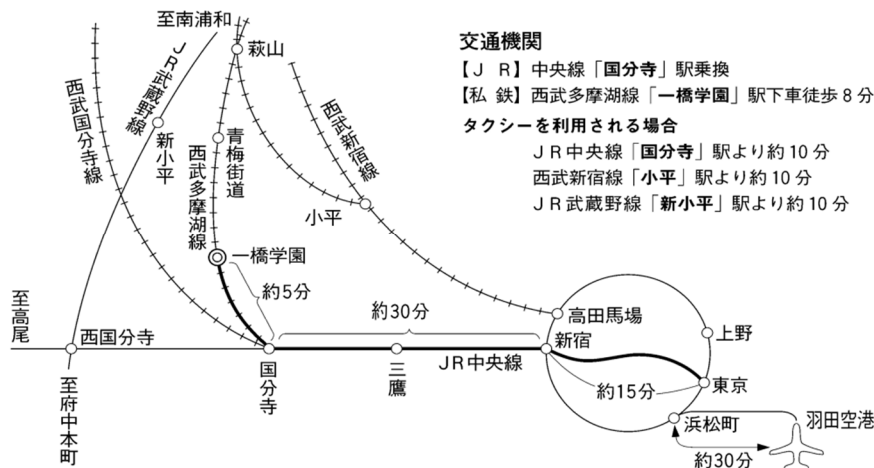
※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

<https://www.jctc.jp/>



令和7年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
なお、この場合は全ての研修について配信されます。
ご希望の方は、下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>

